

○2024年7月～9月 説明を要する議案（重要な議案）についての賛否判断

1. 利益相反のおそれがある銘柄の議案

利益相反のおそれがある銘柄の議案については、原則議決権行使の基本方針に基づいて議決権行使を判断しておりますが、当基本方針にて判断することが困難である議案については、議決権行使助言会社からの当社の議決権行使の基本方針に基づく助言に従い行使することで、判断を歪めることなく一貫した対応を行っております。

2. 他の銘柄の議案

①3549：クスリのアオキホールディングス（株主総会開催日：2024年8月16日）

同社のストックオプションが取締役会決議にて導入されていることから、株主提案者はガバナンス面で改善が必要であるとして、一部の取締役について解任を求める議案を提案しました。

NZAMは、本ストックオプションの設計が大幅な希薄化が伴うため議決権行使の基本方針に抵触するうえ、導入目的や意図、必要性など株主に対して十分な説明がなされていない点を踏まえた場合、少数株主利益の観点から問題があると判断し、株主提案に賛成としました。

以上